

秋季展

このいろいろ なにいろいろ

令和2年

9/19(土)~11/23(月・祝)

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)

一般500円

中・小生250円

※「記念館」「酒蔵館」の共通券です。

火曜日休館

10月19日(月)は一部展示入替のため記念館展示室はご観覧いただけません。

9月22日(火・祝)は開館、9月23日(水)は休館。

11月3日(火・祝)は開館、11月4日(水)は休館。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や内容が変更になる場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

ココロカード呈示者は無料
65歳以上の西宮市民は証明書呈示で半額

江戸・明治・大正・昭和と時代が移ろう中で様々な絵が描かれ、人々を魅了してきました。こうした絵画作品には、画家の様々な技が尽くされていますが、そのひとつに色使いがあります。

画題に対してどの色がふさわしいのか、画家が真剣に向き合った末に作品を完成させています。今回の展示では、時代や流派が異なる作品を展示し、色使いの違いなどをご覧いただければと思います。



主権 公益財団法人白鹿記念酒造博物館
後援 西宮市・西宮観光協会
歴史街道推進協議会

図版・観時五十四情 第廿八号 野分(部分)

公益財団法人
白鹿記念酒造博物館

【明治の酒蔵 酒ミュージアム】〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21
TEL.(0798)-33-0008 (代) FAX.(0798)-32-2790

Hakushika Memorial Museum of Sake <https://www.hakushika.co.jp/museum/>



入館
割引券

本券1枚につき1名、一般入館料を2割引いたします。

令和2年 9/19(土)~11/23(月・祝)

ぬり絵に挑戦!

「秋季展 このいろなにいろ」で展示されている
富岡鉄斎の作品「寿仙白鹿図」*に
おもいおもいの色をぬってみましょう。

色をぬった作品を持って、展示されているオリジナルの作品*と見比べてみましょう! 画家・富岡鉄斎の感性を感じてみてください。

*前期(9/19~10/18)は掛軸、後期(10/21~11/23)は同図柄のふくさを展示いたします。



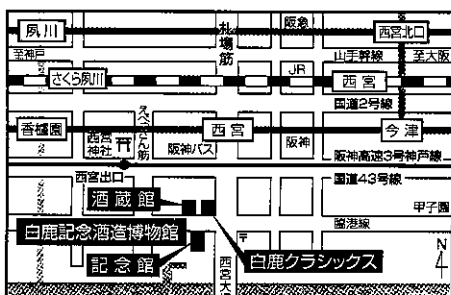
寿仙白鹿図

大正6年の辰馬本家酒造(清酒白鹿醸造元)本社屋落成を祝って描かれた作品で、鹿をつれた寿老人と呼ばれる仙人が描かれています。頭の後ろに描かれている巻物には人の寿命が記され、手に持つ桃は長寿を意味することから、縁起の良い画題とされています。さらに詳しい解説は展示室でご覧ください。

富岡鉄斎

天保7年(1836)~大正13年(1924)
京都生まれ、幕末維新期の歌人大田垣蓮月の下で、国学・儒学・仏教を学びました。年を重ねるとともに色彩に豊麗さを、筆致に澆瀾(はらうらん)さを加え、深い味わいの独自の画境を展開しました。

交通のご案内



阪神電車西宮駅より
徒歩/札幌筋を南へ15分
阪神バス/マリナパーク方面行
「交通公園前」下車南西へ1分

バス時刻表 (10時~15時) 阪神西宮駅南口より毎時 2・14・26・38・50分 駐車場 有り

ぬり絵作品をInstagramへ投稿しよう

投稿する時は、タグ「#白鹿記念酒造博物館」や「#このいろなにいろ」を付けてください。

また、一部を当館公式Instagramでご紹介させて頂きたいと思っておりますので、ご希望の方はぬり絵をご持参の上、記念館受付へお声がけください。



公式Instagram
はこちらから



日本遺産
JAPAN HERITAGE

「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷が令和二年度の日本遺産に認定されました。

公益財団法人

白鹿記念酒造博物館

【明治の酒蔵 酒ミュージアム】 〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21
TEL(0798)-33-0008(代) FAX(0798)-32-2790

Hakushika Memorial Museum of Sake <https://www.hakushika.co.jp/museum/>